

厚生労働省は、令和7年6月25日に令和6年度の「過労死等の労災補償状況」のとりまとめを公表しました。

令和6年度の過労死や仕事のストレスによる精神障害などを理由とした労災補償の請求件数は4810件で、前年度から212件増え、過去最多となっています。実際に過労死等の労災認定された件数も、前年度より196件多い1304件と過去最多となっています。

「過労死等」の定義

「過労死等」は、「業務における過重な負荷による脳血管疾患若しくは心臓疾患を原因とする死亡若しくは業務における強い心理的負荷による精神障害を原因とする自殺による死亡」又は、「これらの脳血管疾患若しくは心臓疾患若しくは精神障害をいう。」と定義

度から212件増え、過去最多となっています。実際に過労死等の労災認定された件数も、前年度より196件多い1304件と過去最多となっています。

精神障害の認定件数

出来事別では、「上司等から、身体的攻撃、精神的攻撃等のパワーハラスメントを受けた」が最多で、次いで「仕事内容・仕事量の大きな変化を生じさせる出来事があった」、「顧客や取引先、施設利用者等から著しい迷惑行為を受けた」（カスタマーハラスメント）となりました。

事務所だより

過労死等の労災補償状況

第190号
発行所
藤田社会保険労務士事務所
京都市伏見区

されていきます。

精神障害の認定件数

因でうつ病などの精神障害となり、労災認定された人は前年度に比べて増加しています。このうち、自殺や自殺未遂は88人で、9人増加しています。精神障害による労災と認定された人は6年連続で過去最多となりました。

【別表1】

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
請求件数	2051	2346	2683	3575	3780
決定件数	1906	1953	1986	2583	3494
(支給) 認定率	31.9	32.2	35.8	34.2	30.2

※必ずしも同年度中に決定されているものではない。

【別表2】

具体的な出来事	R5年度		R6年度	
	決定件数	うち支給決定件数	決定件数	うち支給決定件数
上司等から、身体的攻撃、精神的攻撃等のパワーハラスメントを受けた	286	157	389	224
仕事内容・仕事量の大きな変化を生じさせる出来事があった	265	100	358	119
顧客や取引先、施設利用者等から著しい迷惑行為を受けた	83	52	207	108

は、令和5年度から新たに原因項目に追加され、国が「業務に起因する重大なストレス要因」と認めています。【別表2】

カスハラ防止策

昨今、カスハラについて大きな社会問題となっています。今年6月に改正労働施策総合推進法が成立し、企業にカスハラ防止策が義務付けられま

した。「どのような行為がカスハラにあたるのか」「現場でカスハラに遭遇した場合、誰どのように報告・相談するのか」「組織としてどのように対応するのか」といった具体的な対応手順をマニュアル化し、社員全員で共有する等、社員が一人で抱え込むことがないようにする事が不可欠です。

アウトソーシングしてみませんか？

《各事業所のニーズに応じてお選びいただけます。》

給与計算代行

毎月の給与や賞与の計算と付帯業務についてサポートいたします。

給与計算代行 + 社会保険関係手続

給与計算には欠かせない入退社手続き等の関連手続きもサポートいたします。

給与計算代行 + 顧問契約

給与計算と各種手続きや労務相談・指導などトータルサポートいたします。

お申込み・お問い合わせは、藤田社会保険労務士事務所までご連絡ください。

「教育訓練休暇給付金」

令和7年10月1日スタート

令和7年1月から雇用保険
に「教育訓練休暇給付金」が
新設されるようになりました。

「」の制度は、事業主からの業務命令ではなく、従業員が自発的に訓練休暇を取る場合に、経済的な後押しを行つもので、給付金を受けるのは従業員本人ですが、手続に關して事業主が対応します。どのような制度なのか、ポイントを見ていこまほしょつ。

② 下限開始から三ヶ月間は、

②休眠開始前に5年以上雇用保険に加入していた期間があること

育訓練休暇給付金の支給を受けた場合、休暇開始日より前の被保険者期間がなかったものとみなされることになります。そのため、失業給付等の被保険者期間を要件とする給付金を受給するためには、新たに支給要件を満たすための加入期間が必要となります。

なお、育児介護給付金や教育訓練給付金の支給要件期間に

は影響しないとされております。

②教育訓練休暇中に就労した日は給付を受けられません。

副業であっても同様です。

③受給期間を過ぎた場合、教育訓練休暇給付金の支給は受けられません。

○雇用保険被保険者資格取得
届の提出（前月以降に採用した労働者がいる場合）

9月1日

○健保・厚年保険料の納付
〔郵便局または銀行〕

○外国人雇用状況報告（雇用保険の被保険者ではない労働者）
〔公共職業安定所〕

編集後記

中央最低賃金審議会では、7月22日に今年度の最低賃金の目安を決める小委員会を開催しています。全国加重平均で過去最高の6%（63円）以上の目安を示す方向で調整中だとか…。（れいこ）

藤田社会保障労務十事務所

〒612-8017
京都市伏見区桃山南大島町1-4-41-503
TEL・075-611-5300
FAX・075-644-6922
e-mail：
fujita.office-1@k-fujita-sr.com
URL <http://k-fujita-sr.com>